

多様化・高度化する資産運用ニーズにお応えしています。

明治ドレスナー・アセットマネジメントによる事業展開

平成10年3月、当社はドイツのドレスナー銀行とアセットマネジメント事業における業務提携を行ない、これに基づき同年7月に両社の投資顧問会社が合併し明治ドレスナー・アセットマネジメント株式会社が発足、さらに平成12年7月には、同社と明治ドレスナー投信株式会社が合併し、現在の「明治ドレスナー・アセットマネジメント株式会社」が誕生しました。これにより、グローバルな運用力と投信商品開発力を統合し、団体年金のお客さま向けにも私募投信など幅広いニーズにお応えできる商品等、一層高度な資産運用サービスを提供しています。

また、平成12年4月には、当社の団体年金特別勘定について、明治ドレスナー・アセットマネジメントが運用助言を開始しました。今後とも、当社グループの総力を結集してお客さまにご満足いただける運用サービスを提供してまいります。

平成13年4月、当社提携先ドレスナー銀行は、ドイツ最大の保険持株会社アリアンツと総合金融サービス会社の形成に合意し、アリアンツによるドレスナー銀行株式の取得が行なわれる予定です。当社はアリアンツとは長年の友好関係にあり、世界最大級の運用資産規模を誇る新グループとの関係をさらに緊密なものとし、従来以上に質の高いグローバル運用サービスの提供に努めます。

(1) お客さまからの高い評価

明治ドレスナー・アセットマネジメントは、「年金情報（株式会社格付投資情報センター）が全国の厚生年金基金・適格退職年金を対象として実施した「2000年運用委託機関顧客評価調査」において、運用委託機関全体評価で第3位、投資顧問の運用能力評価でも総合第3位、また、「新たに採用したい運用機関」としても第4位となり、お客さまから高い評価を得ています。

(単位:億円、件)

(2) 団体年金受託残高は1兆円を突破

明治ドレスナー・アセットマネジメントの国内年金受託残高は、平成12年3月末の7,390億円(186件)から平成13年3月末には、1兆143億円(227件)に増加しました。

	国内年金受託残高					
	公的年金		私的年金			
	金額	件数	金額	件数	金額	件数
平成11年度末	7,390	186	225	2	7,165	184
平成12年度末	10,143	227	225	2	9,917	225
前年度末比	137%	122%	100%	100%	138%	122%

投資信託業務への取り組み

当社では、お客さまの金融商品に対する多様なニーズにお応えするため、平成11年4月から、投資信託商品の販売を開始しました。

明治ドレスナー・アセットマネジメントにおいては、平成12年4月に設定・運用を開始した「明治ドレスナー日本株式リサーチオープン(愛称:和太鼓)」とあわせて、今後導入が見込まれる確定拠出年金(日本版401K)にも対応した、ライフサイクル型投信「明治ドレスナー・ハートフルライズ(プラン30・50・70)」、グローバルバランス型投信「明治ドレスナー・グローバルバランスオープン(愛称:五穀豊穰)」、外国株式特化型投信「明治ドレスナー外国株式リサーチオープン(愛称:ジェットストリーム)」等7本の投資信託商品の設定・運用を平成13年4月に開始するなど、商品・サービスの充実に努めています。



確定拠出年金制度導入への対応

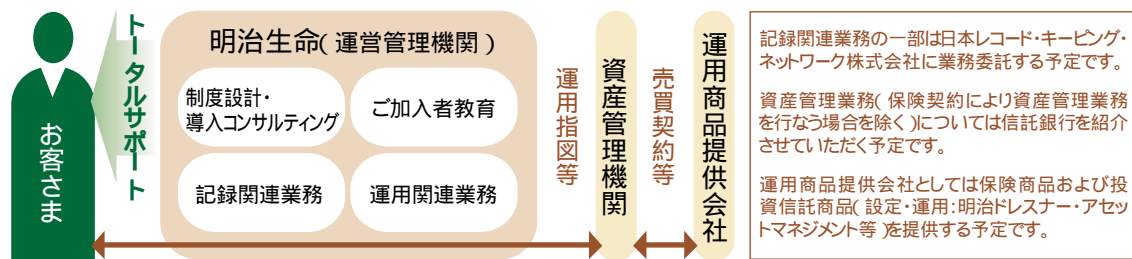
当社では、確定拠出年金についても、主要な事業のひとつとして、年金分野における豊富なノウハウ・人材や全国に展開するサービス・ネットワーク等をフルに活用することにより、お客さまが必要とされる様々な業務について幅広くサービスを提供する予定です。

(1) 三菱金融4社による共同事業会社(日本確定拠出年金コンサルティング株式会社)の設立

平成13年3月、当社は株式会社東京三菱銀行、三菱信託銀行株式会社および東京海上火災保険株式会社と共同で確定拠出年金の運営管理業務を行なう日本確定拠出年金コンサルティング株式会社(以下、DCJ)を設立しました。

DCJでは4社が持つノウハウと機能を有効に活用し、お客さまが確定拠出年金を導入・運営される際に必要なサービスを一貫して提供します。

当社単独でも運営管理業務を行ないますが、確定拠出年金の導入に際してお客さまの多様なニーズにお応えする観点から、DCJの活用も提案させていただく予定です。



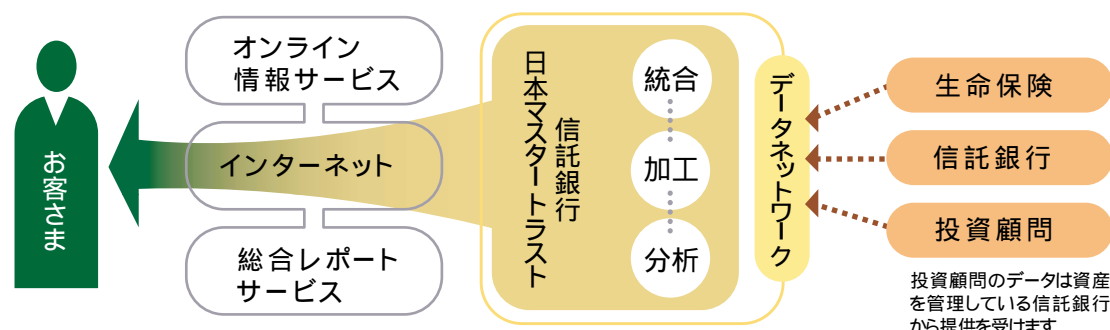
(2) ズーロジック社との提携

確定拠出年金では、制度へのご加入者の方々が適切な投資判断を行なえるよう基礎的な情報提供や投資教育が重要となります。平成12年12月、当社はこの分野において、有力な教育ソフト会社である米国ズーロジック社(Zoologic, Inc. 本社ニューヨーク)と提携しました。国際的に定評のある同社の監修のもとに、誰にでもわかりやすく、信頼性の高い知識教育ソフトを開発・提供する予定です。

マスタートラストへの取り組み

わが国で初めてマスタートラスト業務を本格的に取り扱う信託銀行として、当社、三菱信託銀行株式会社、日本生命保険相互会社、東洋信託銀行株式会社、ドイツ銀行との共同出資により日本マスタートラスト信託銀行株式会社が平成12年5月に開業しました。日本マスタートラスト信託銀行では、平成12年6月から他に先がけて、各運用機関の運用状況を一元的に管理する「情報統合サービス(愛称:マイネット)」を提供していますが、次のステップとして、年金資産を一元的に集約して様々なサービス提供をめざす「資産統合サービス」の提供に向けても準備を進めています。

日本マスタートラスト信託銀行の提供する「マイネット」の概要



最新・最高の商品・サービス